

1963

JFK

J F K

映画で学ぶ 「事実と主張を見分ける」

対象：高校生以上

名前

年 組

1 映画は「事実」？ それとも「主張」？

映画の中には、ある出来事について**監督の考え（主張）を強く打ち出す作品**があります。『JFK』は、ケネディ大統領暗殺の裏に「大きな陰謀があったのではないかと強く訴える映画です。

「記録？ 再現？ 推測？」と問う。

🔑 ケネディ大統領暗殺（1963年）

政府の調査は「犯人は一人」と結論づけました。映画は陰謀を強く主張し、社会の関心を高めた一方で、「事実と推測を混ぜている」とも批判されました。映画の主人公の検事が起こした裁判では、被告は無罪になっています。

※この映画で描かれた陰謀説は、事実として確かめられたものではありません。

2 陰謀論と向き合う4つの視点

■ ① 証拠と推測を分ける

確かめられた事実と、「こうかもしれない」を分ける。

■ ② 反対の証拠も見る

自分の考えに合わない情報にも目を向ける。

■ ③ 「全部つながる」に注意

何でも一つの大きな陰謀で説明できる話は、かえって疑う。

■ ④ 疑うこと自体は悪くない

発表を確かめるのは大切。ただし、確かな方法で。

3 映画『JFK』とは

あらすじ

暗殺から数年後、地方検事ジム・ギャリソンは事件に疑問を持ち、独自の調査を始めます。証言や記録をたどるうちに「大きな力が働いていた」と確信し、法廷で真相に迫ろうとします。映画は、実際の記録映像と再現映像、推測の場面を組み合わせ、観客をギャリソンの考えへと引き込んでいきます。

3種類の映像

この映画は、①実際の記録映像、②俳優が演じた再現映像、③「こうだったかもしれない」という推測の映像を、見分けにくい形でつないでいます。

見るときの心がまえ

暴力的な場面があります。先生が選んだ場面を、「これは記録？ 再現？ 推測？」と考えながら見ましょう。

4 事実と主張を見分けるワーク

 映画を観て（またはあらすじから）、考えて書こう

① 「記録」「再現」「推測」を見分けにくかった場面はどこ？

② この映画が「説得力がある」と感じられるのは、なぜだと思う？

③ 陰謀論が広まりやすい理由を考えよう

④ SNSで「衝撃の真実」という動画を見たら、どうする？

5 ふりかえり

説得力のある映像ほど、_____を分けて見る必要があると分かりました。これから動画を見たときは、_____と問いたいです。

 『『記録？ 再現？ 推測？』と問う。』

先生・保護者へ：『JFK』は上映時間が188分と長く、暗殺の瞬間の記録映像（頭部への銃撃）や暴力的な場面を含みます。本資料は高校生以上を想定しています。年齢区分は上映前に確認してください。描かれた陰謀説を事実として教えないよう注意し、「主張と事実を見分ける教材」として場面を選んで扱ってください。

© 2026 FilmEdu AI / この教材はAIを活用して作成しています。内容に誤りを含む場合があります。解説文はすべてオリジナルで、ポスター・場面写真は使用していません。作品の著作権は各権利者に帰属します。授業での上映には適切な権利処理が必要になる場合があります。